

排水樋管周辺地域における 今後の浸水対策の取組について

(山王排水樋管周辺地域)

川崎市上下水道局

1 令和元年東日本台風による浸水被害の概要

- 令和元年東日本台風では、多摩川流域の檜原、御岳、高尾、多摩観測所で、過去最大の雨量を記録し、田園調布(上)観測所などで、計画高水位を超える過去最高の水位を記録
- 雨水を多摩川へ自然排水する排水樋管周辺地域では、放流先の河川水位の影響により、逆流した河川水や、その影響を受け流下しづらくなった内水が溢水し、浸水被害が発生



2 これまでの取組

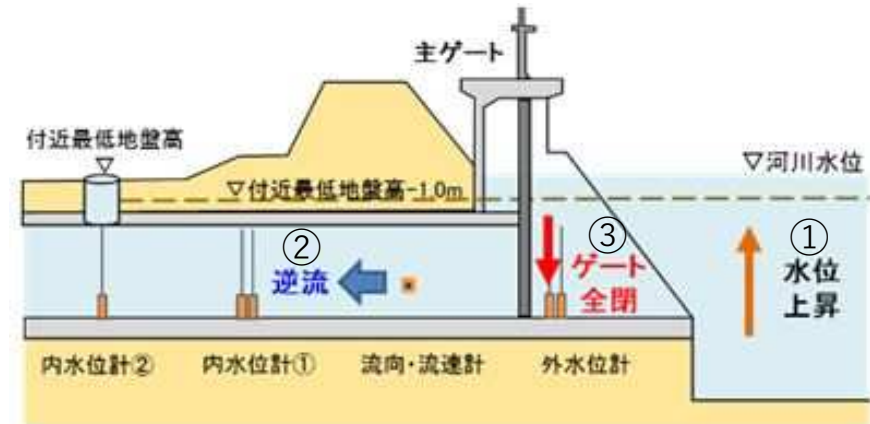
短期対策

- 河川水位が上昇した場合における確実な排水樋管ゲートの操作、河川水の逆流防止、内水排除等を目的とし、排水樋管ゲートの改良や、観測機器の設置、操作手順の見直し、遠方制御化、排水ポンプ車の導入などの対策を令和2年7月までに完了

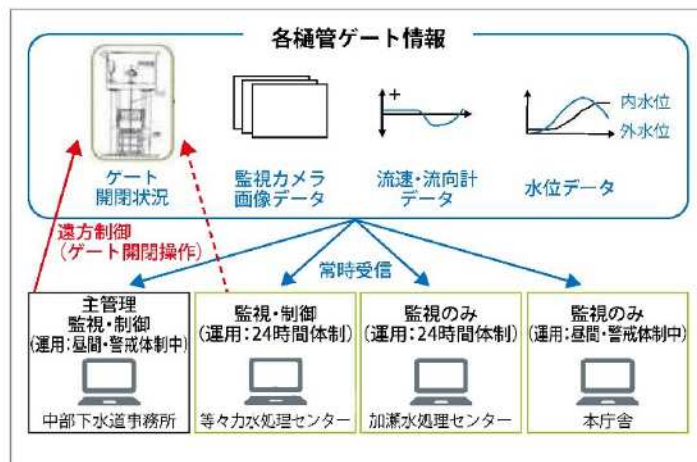
■ 排水樋管ゲートの改良



■ 観測機器の設置・操作手順の見直し



■ 遠方制御化



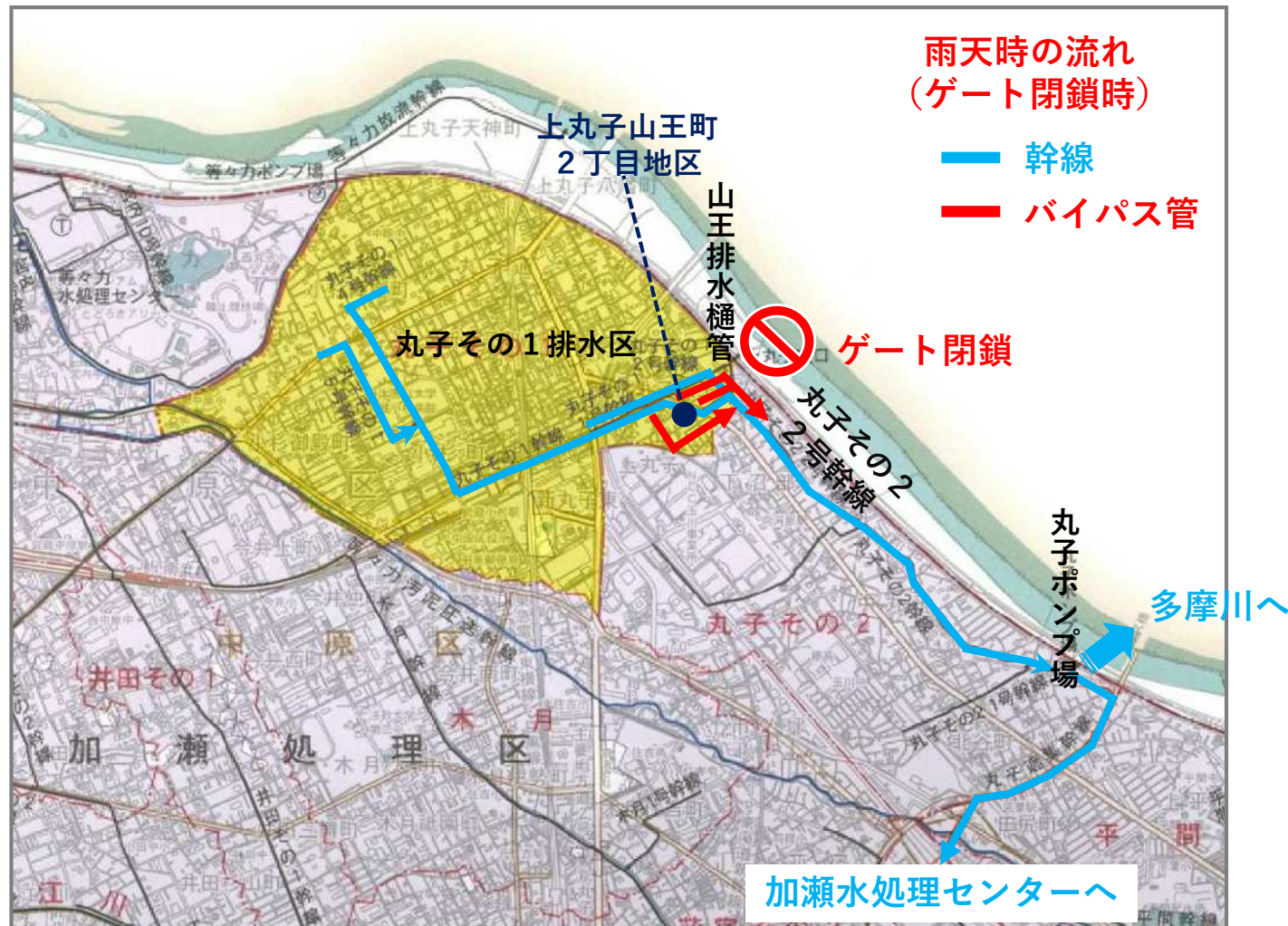
■ 排水ポンプ車の導入



2 これまでの取組

当面の対策(山王排水樋管周辺地域におけるバイパス管の整備)





- バイパス管は、上丸子山王町2丁目地区における集中豪雨による浸水被害の軽減と、排水樋管ゲート閉鎖時の排水機能の補完を目的とし、当該地区の雨水を、丸子その2 2号幹線へ導水する施設
- バイパス管や逆流防止弁の整備を、令和5年8月に完了

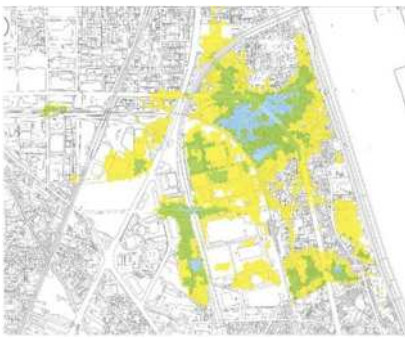
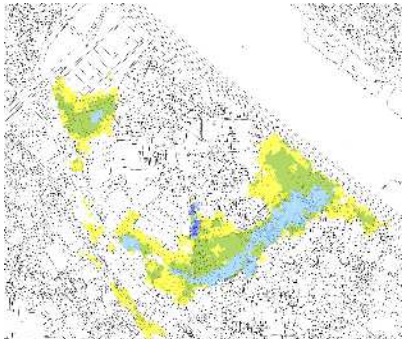
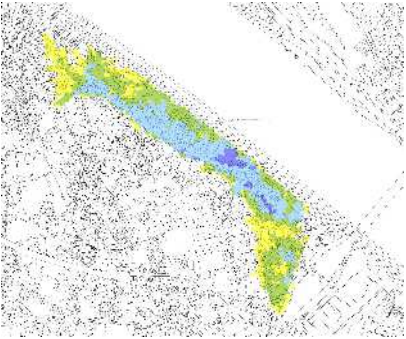
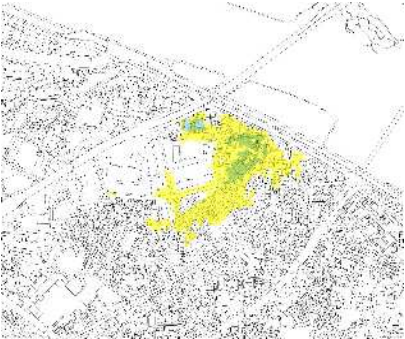
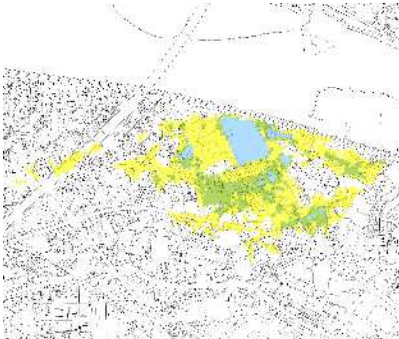

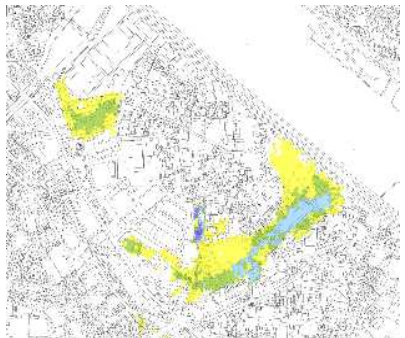
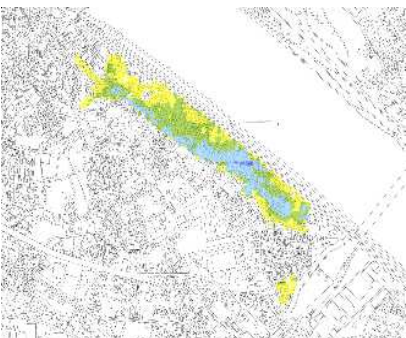
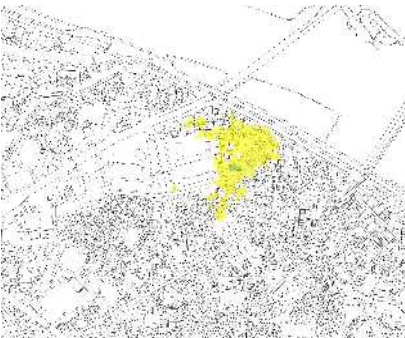
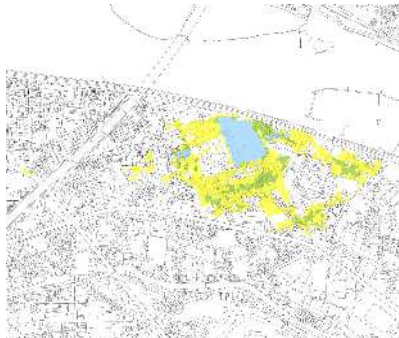


2 これまでの取組

取組の効果

●令和元年東日本台風の降雨、河川水位の条件で、効果を確認

凡例	浸水深
	50cm未満
	50cm以上1m未満
	1m以上2m未満
	2m以上3m未満

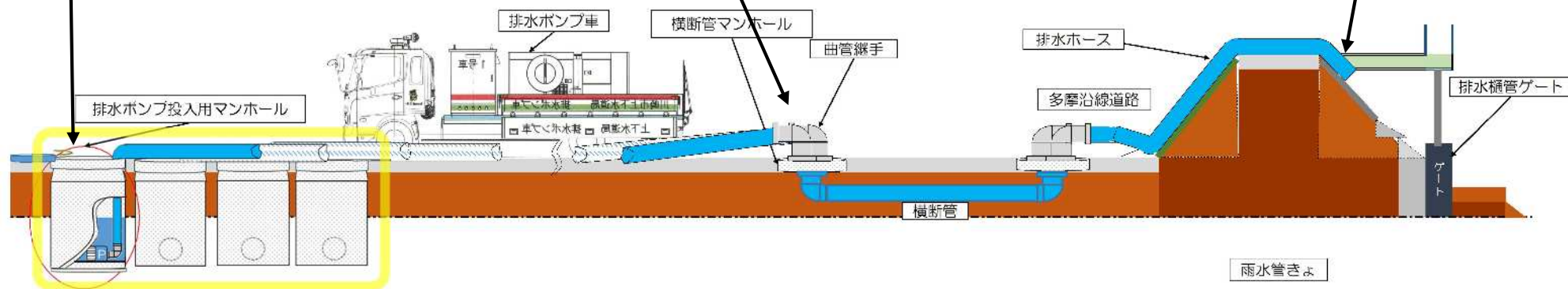
	山王	宮内	諏訪	二子	宇奈根
対策前(台風当日)	 <p>床上浸水相当: 151,000 m² 床下浸水相当: 159,000 m²</p>	 <p>床上浸水相当: 111,000 m² 床下浸水相当: 62,000 m²</p>	 <p>床上浸水相当: 134,000 m² 床下浸水相当: 28,000 m²</p>	 <p>床上浸水相当: 11,000 m² 床下浸水相当: 32,000 m²</p>	 <p>床上浸水相当: 75,000 m² 床下浸水相当: 75,000 m²</p>
対策後	 <p>浸水防止 床上浸水相当: 0 m² 床下浸水相当: 0 m²</p>	 <p>床上浸水 53%低減 床上浸水相当: 52,000 m² 床下浸水相当: 46,000 m²</p>	 <p>床上浸水 44%低減 床上浸水相当: 75,000 m² 床下浸水相当: 29,000 m²</p>	 <p>床上浸水 94%低減 床上浸水相当: 700 m² 床下浸水相当: 13,000 m²</p>	 <p>床上浸水 47%低減 床上浸水相当: 40,000 m² 床下浸水相当: 43,000 m²</p>

※ 床上浸水相当とは浸水深50cm以上としている

2 これまでの取組

排水樋管周辺地域における訓練

●排水樋管ゲートの開閉操作や、排水ポンプ車による排水作業等の運用訓練を実施



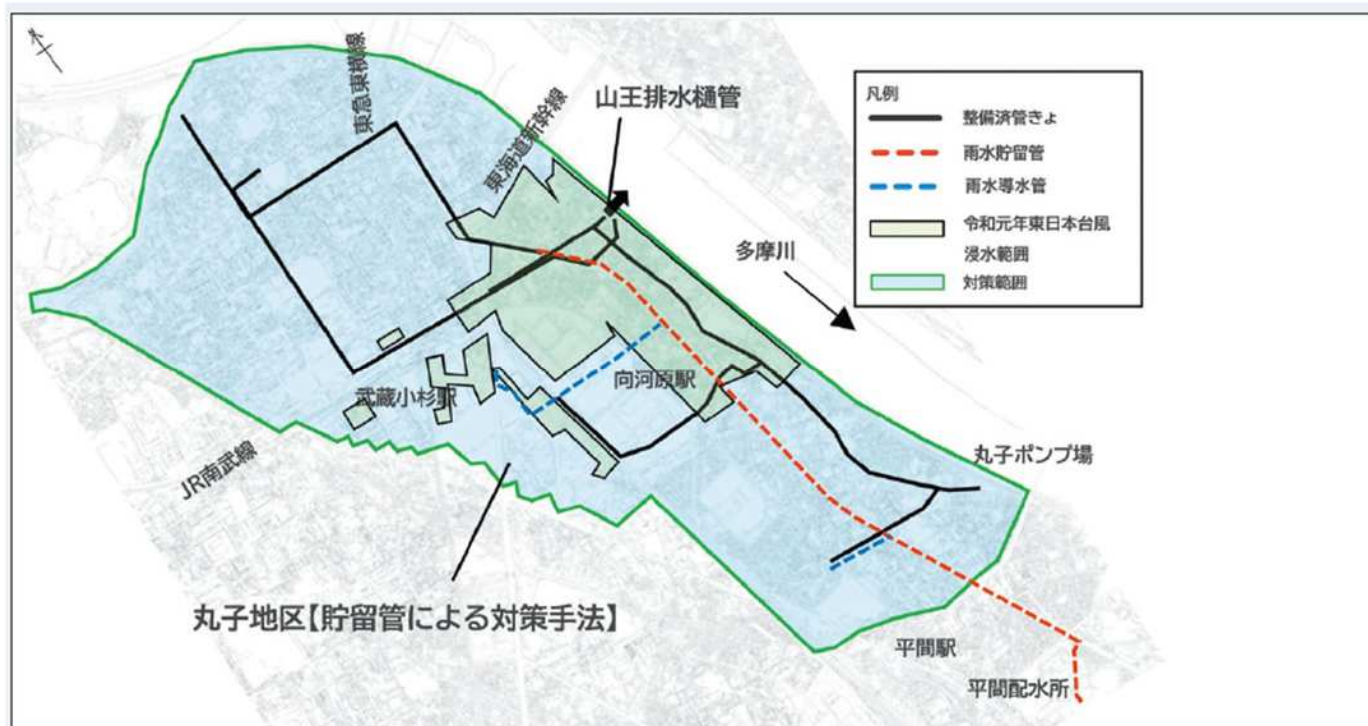
4 川崎市上下水道事業中期計画(2026~2029)の取組

- 今後の浸水対策では、多摩川高水位時における整備水準を10年確率降雨(時間雨量58mm)と設定し、対策施設の整備を推進
- 効果発現に時間を要する場合などについては、まずは令和元年東日本台風と同じ条件における浸水解消を目指すとともに、10年確率降雨への対応について、引き続き検討を推進
- 上下水道事業中期計画に位置付けた対策は、中期対策(ポンプゲート設備の整備)完了後、令和10年度(2028年度)から工事着手予定



4 川崎市上下水道事業中期計画(2026~2029)の取組

- 丸子地区については、令和8年度(2026年度)から事業計画の立案に着手し、国との協議等を進めるとともに、地質調査や設計に取り組み、令和10年度(2028年度)の工事着手、令和18年度(2036年度)の供用開始を目指す
- この対策により、多摩川高水位時において10年確率降雨(時間雨量58mm)に対応可能
- また、多摩川低水位時においては、横浜地方気象台における既往最大降雨である1時間あたり92mmの降雨においても床上浸水を防止



※整備予定の内容は、計画の見直し等により変更する可能性があります。また、計画期間以外の予定も含まれます。